

# 令和元年度に取り組むこと

## 重点的に実施すること

- 徹底した自己改革の実践により農業所得の増大を図ります。
- 営農支援機能の充実により農業生産の拡大に取り組みます。
- 食と農を基軸に地域とのつながりを強化します。
- 健全経営を支える総合事業を展開します。
- 公認会計士監査導入に伴う内部管理態勢の充実・強化に努めます。



## 農業関連事業

- 魅力ある力強い農業を実現するため、地域農業コーディネート機能を強化し農業生産拡大に取り組みます。
- 持続可能な農業を支える生産基盤の維持・強化に努めます。
- 地元農産物を活用した農産加工品の拡大に取り組みます。
- 変化する消費構造に対応した流通戦略を実践し、農業所得向上に努めます。
- 生産部会の充実を図り、信頼される「JAわかやまブランド」を構築します。



## くらし・生活

- 食農教育活動に取り組みます。
- 街の美化活動に貢献します。
- 高齢者が楽しく安心して暮らせる地域社会づくりに取り組みます。
- スポーツ振興および健康増進活動を実施します。
- 地域の子どもの通学を見守り、安全な地域づくりに努めます。
- 地域との繋がりを深める活動に取り組みます。

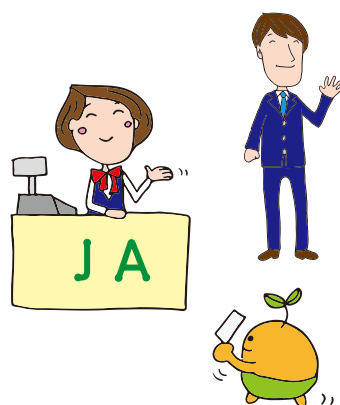


## 基本方針

「魅力ある力強い農業」と「豊かな地域」の実現に向け、組合員のみならずとともに農業と地域の未来を切り拓くため、総合事業を展開します。地域農業の振興と農業所得の向上をめざし、組合員・利用者・地域のみならずにとって必要不可欠な存在となるべく、各種相談体制をさらに充実させていきます。また、組合員のみならずとの対話運動の展開により意思反映の強化と、満足度向上に努めます。

## 信用事業

- 農業メインバンクとして、農業者のニーズに応じた情報提供・提案を行い、魅力ある力強い農業をサポートします。
- 愛され必要とされる地域メインバンクをめざし、組合員・利用者のライフプランに応じた総合的サービスを提供します。
- 「目配り・気配り」を強化し、警察等との連携のもと巧妙化する金融犯罪から組合員・利用者を守ります。
- 総合事業を支える一翼として、事業基盤の拡充に努めます。
- リスク管理体制を強化し、健全性・信頼性の維持・向上を図ります。



## 共済事業

- 「ひと・いえ・くるま」の総合保障を提案し、訪問活動に重点を置いた顔の見える共済事業を展開します。
- 地域貢献活動を通じて地域との絆を強化し、健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりに積極的に取り組みます。
- 事務の効率化に取り組み、健全性および利便性の向上に努めます。
- 利用者満足度向上のため、相談体制の強化と事故処理対応の迅速化に努めます。



# JAわかやま事業報告 (平成30年度)



「食と農を通じて  
輝く未来を志向し  
組合員地域とともに歩む  
JAわかやま」

JAわかやま

組合員のみならずには、日頃よりJA事業をご利用いただき、誠にありがとうございます。

人口減少、超高齢化社会の急速な進展や異常気象、大規模自然災害の発生など、地域農業や社会がさまざまなリスクに直面する中、JAわかやまでは「JAが変わる。農業と地域を変える。」をスローガンに、農業所得の増大、農業生産の拡大、地域の活性化をめざして、業務用・契約野菜栽培の拡大支援や農業生産コストの低減対策、食農教育や美しい街づくりなどに取り組んでまいりました。

これからも、組合員のみならずとの対話を通じて、ご意見・ご要望を事業運営に反映させるとともに、家族農業の価値を広く発信していくことが重要であると考えています。

魅力ある農業と力強い地域の実現に向け、組合員のみならずとともに役職員一同、全力で取り組んでまいりますので、更なるご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表理事組合長 坂東 紀好

## 概況

※平成31年3月31日時点

組合員数(法人除く) …… 正組合員 8,093人 准組合員 23,283人  
出資口数 …………… 4,598,761口(一口:1,000円)  
職員数 …………… 337人  
店舗 …………… 19支店、4営農センター



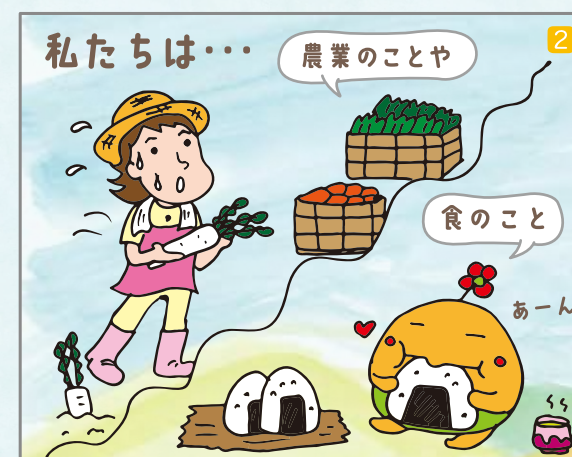
南部営農センターオープン



しげそうのジンジャーエール完成



JAわかやま寄付講義開講





# JAわかやま 自己改革!

これまでも、これからも、地域とともに、JAわかやまは総合事業を展開します。

JAわかやまは、現在、「JAが変わる。農業と地域を変える。」をスローガンに、「農業所得の向上」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする自己改革に取り組んでいます。

JAは「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」であり、農産物の販売や生産資材の供給のほか信用事業、共済事業などのさまざまな事業を総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域の活性化に取り組んでいます。

また、信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、営農指導員の配置や多額の農業関連施設への投資などが実現できています。

JAわかやまはこれからも、総合事業を通じて、地域の農業とくらしを守る活動に取り組んでまいります。

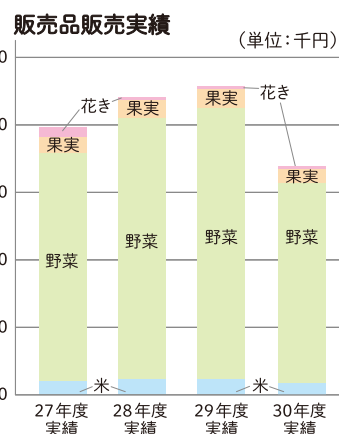
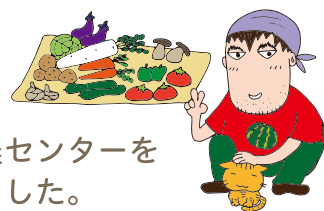


## 平成30年度を振り返って

### 農業関連事業について (営農・販売・購買)

安全・安心な農産物の生産を強化し、営農センターを核とした地帯別、品目別対策に取り組めました。

- 魅力ある農業を確立するため、基幹品目の維持・拡大や生産性・収益性の高い品目への転換を図り、農業生産の増大及び農家所得の向上に取り組めました。
- 行政や関係機関と連携し、多様な補助事業を実施、また災害対策として復旧支援活動を行いました。
- 県下統一水稻一発肥料の導入や野菜元肥一発肥料の開発等、農業生産の省力化・低コスト化に取り組めました。
- 米穀の取扱数量は29,014袋/30kg、販売高は2億620万円(前年比87.2%)。野菜では29億3,688万円(前年比73.0%)、果樹は2億4,742万円(前年比89.5%)となりました。
- 定期的な目揃会の実施や真空予冷の活用により、品質保持・統一など高品質化に取り組み、ブランド力の向上を図りました。
- 販売ルートを確認にした予約相対取引の拡大に取り組み、安定した売り場の確保に努めました。
- 直売所独自のこだわり野菜の生産を拡大し、地場産農産物の販売を強化しました。
- 組合員ニーズに対応した商品やサービスの提供と環境対応型商品の普及を図り、安全で快適な暮らしの支援に努めました。



野菜苗の引取り



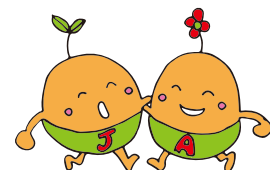
寒玉キャベツ目揃え会



水稻・果樹集落別説明会

### くらしの活動

- 食農教育に取り組みました。
- 美しく明るい街づくりに貢献しました。
- 高齢者が楽しく安心して暮らせる地域社会づくりに努めました。
- 健康増進およびスポーツ振興に取り組みました。
- 地域の子どもたちが安全に通学し、快適に学習できる環境づくりに努めました。
- 児童文化活動の啓発に取り組みました。
- 地域との繋がりを深める活動に取り組みました。



JAわかやま杯少年サッカー大会



トウモロコシ収穫体験



学童農園田植え

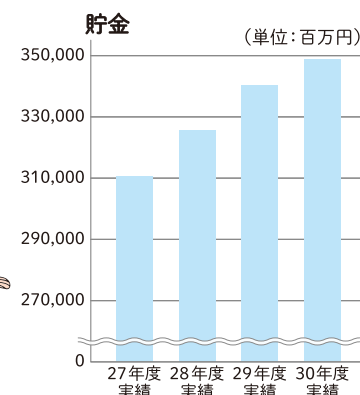


女性会運動会

### 信用事業について (JAバンク)

みなさまから愛され必要とされる地域メインバンク、地域農業の未来を担う農業メインバンクとして活動を展開しました。

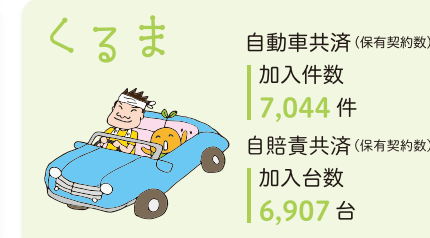
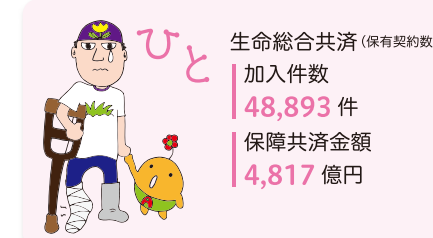
- 年金・相談の休日無料相談会を年11回、各支店にて順次開催しました。
- 愛菜てまりっこ(直売所)で使えるクーポン券付き定期貯金・定期積金「たわわ」を発売しました。
- 農業者に対し利子助成などを行う農業振興資金、自然災害による農業被害対応資金などにより農家経営支援を実施しました。



### 共済事業について(JA共済)

みなさまの暮らしをサポートするため、「ひと・いえ・くるまの総合保障」を提供し、多くの方にご加入いただきました。

平成30年度共済金の支払実績 102億円 支払い余力比率(ソルベンシーマージン): 1082.9%



※共済事業の実績はJAわかやまの数値を掲載しています。

### 財務状況

(単位: 千円)

|        |             |
|--------|-------------|
| 事業利益   | 627,665     |
| 経常利益   | 831,057     |
| 当期剰余金  | 535,021     |
| 総資産    | 370,133,625 |
| 純資産    | 17,821,624  |
| 自己資本比率 | 13.79%      |

平成31年3月31日現在

### 平成30年度剰余金処分額

(単位: 円)

|                 |               |
|-----------------|---------------|
| 当期末処分剰余金        | 688,356,841   |
| 剰余金処分額          | 509,164,395   |
| (利益準備金)         | (150,000,000) |
| (経営基盤強化積立金)     | (220,000,000) |
| (地域農業振興積立金)     | (50,000,000)  |
| (出資配当金)(年2%の割合) | (89,164,395)  |
| 次期繰越剰余金         | 179,192,446   |

**事業利益**  
JAの総合事業(信用・共済・販売・購買など)の結果生じた利益

**経常利益**  
事業利益に受取利息などの事業外の収益・費用を加減した利益

**当期剰余金**  
30年度に行った事業活動の結果、生じた利益(企業の最終損益に相当)

30年度の出資配当は出資金額の年2%の割合です

